

硫黄岳ツアー装備表

基本装備			
カテゴリ	装備	内容・アドバイス	チェック
ウェア	下着上下	化繊またはウール製のもの。	
	中間着	薄手のフリースや登山用シャツなど。	
	中間着（パンツ）	動きやすいもの。薄手のフリースやソフトシェル素材。	
	防寒着	フリース等に加え、ダウンや化繊中綿のジャケットなど。	
	アウターシェル上下	いわゆる雨具は不可。ハードシェルまたはソフトシェル。	
	靴下2足	ウールまたは化繊のもの。予備も入れて2足。	
	薄手の手袋	天気の良い時に便利。	
	厚手の手袋	保温力があり、-20℃程度でも耐えられるもの。五本指タイプ。	
	オーバー手袋※	厚手の手袋が、オーバー手袋と一体型でない場合は必要。	
	ゲイター※	ロングスパッツ。ラッセルが深いときがあると安心。	
	ニット帽	あると便利。樹林帯では快適。	
目出帽	バラクラバ。凍傷予防に必要。		
雪山装備	雪山用登山靴	保温性があり、アイゼンが装着可能であること。	
	アイゼン	12本の平爪。靴にしっかり合わせておくこと。	
	ピッケル	縦走用のもの。リーシュ（流れ止め）があると安心。	
その他	ザック	30～40リットル。できるだけ軽量コンパクトにまとめる。	
	ストック	登山用の伸縮できるもので、雪山用のバスケットを装着。	
	サングラス	雪目予防のため必携。	
	ヘッドランプ	点灯確認と予備電池をお忘れなく。	
	行動食	冬でも食べられるもの。	
	水筒とテルモス	合計で1リットル程度。テルモスは必携。	
	日焼け止め	UVリップクリームもあると良いです。	
	持病薬※	持病やアレルギーのある方は事前に申し出てください。	
カメラ、地図、スタッフバッグ、時計、ティッシュなど普段携行しているもの。			

※なくても困らないが、あると安心・便利なもの。